

グリーンオン『ザ・ゴルフウォッチ プレミアム』

- 価格(税別) / カラータイプ ¥29,500、モノクロタイプ ¥25,000
- サイズ / 44mm (高さ) × 40.5mm (幅) × 11.8mm (厚さ)
- 腕周り / 150mm ~ 220mm
- 重量 / 53g (電池含む)
- 液晶 / 1.33インチ反射型カラーメモリー液晶、1.28インチ反射型モノクロメモリー液晶
- 電池 / 充電式リチウムイオン電池
- 連続使用時間 / GPS キャディーモード約16時間 (BLE オフ時) (バックライトオフ)
- 外部インターフェイス / 有線: クリップ型充電 / 通信ケーブル (Windows10、8.1、8、7、Vista) 無線: Bluetooth Low Energy (iOS9.3以降、Android4.4以降、Bluetooth4.0以上)
- 防水性能 / 5気圧防水
- 測位方式 / GPSの他に、グロナス、準天頂衛星にも対応。DGPSは、MSAS、L1SAIFに対応
- 使用温度範囲 / -10℃ ~ +60℃ (充電温度範囲: 0℃ ~ +45℃)

シリーズ史上最薄の厚さ11.8mm。 全国99%超のコースレイアウトを カラー表示する時計型GPSキャディー 『ザ・ゴルフウォッチ プレミアム』

今年男子総合優勝を果たした吉岡大輔選手を始め、オフシーズンはゴルフを楽しむスキーヤーは多い。そこでグリーンオン「ザ・ゴルフウォッチ」シリーズの最新機種「プレミアム」を紹介しよう。

カラー液晶採用、高性能アンテナの搭載、すべての既存機能に新機能の追加、スマートフォン連携の強化など、実績と最新技術を結集したプレミアムなザ・ゴルフウォッチだ。

●大型高性能アンテナ&高性能GPSチップ搭載

悪い環境下でもより安定して正確な距離をシリーズ最高精度で実現。

●シリーズ初のカラー液晶

明るい日光の下でも視認性の高い、反射型カラー液晶を採用。

●既存の機能+新機能を搭載

カラー液晶でコースレイアウトの表示が可能。グリーンセンター・フロント・バック・ピン位置・ハザードまでの距離表示のほか、グリーンターゲットまでの距離を好みで組み合わせる表示できる「グリーンターゲットカスタマイズ表示」機能を搭載。「グリーンアタック画面」はグリーン形状やグリーン周りの詳細を参考に打方向を決定。打ちたい方向に対してスクエアスタンスがとれる「スタンスチェック機能」も便利だ。他にも、「2グリーン同時表示」、「フルオートプレイ」、「スコアカウント&飛距離計測」など機能が満載。コースデータは全国99%以上のゴルフ場を網羅している他、日本人がよく利用する海外



01
item

599コース(2016年9月現在)をプリインストール。

●スマートフォン連携の強化

スマートフォンでコースデータ等の更新ができ、ショット軌跡の閲覧やスコアの管理・分析が可能。専用スマートフォンアプリ「GO PREMIUM」はダウンロード無料!

※スマートフォンによるコースデータ更新はカラーモデルのみ。

●選べる4タイプ

カラー液晶タイプとモノクロ液晶タイプ、ブラック×レッド、ホワイト×グリーンのカラーバリエーションから選べる。

問合わせ= MASA

☎ 03・3662・5290

URL <https://www.greenon.jp/>

学生スキーヤーの夏を応援! 「第5回学生サマーSKI大会」開催

8月30日・31日、「第5回学生サマーSKI大会」が開催され、関東、北信越、関西、中部から17の大学が参加。総勢約190名がインラインSKIとピスラボSKIで技術を競い合った。

インラインSKI競技が行われたのは幅約200m、長さ約150m、傾斜約5度の好条件が揃う高鷲スノーパーク。高さ約2mのスタート台から、選手達は元気よくターン弧を描き、電光掲示板に表示される得点に一喜一憂。

立命館大学の高塚悠選手がターンスピードの速さを表現し、エリート男子クラスで優勝。京都産業大学の奥村麻里子選手が歯切れの良い小回りを披露し、エリート女子クラスで優勝。新潟大学の高橋宗一郎選手、同志社大学の岸田瑠璃選手が新人戦優勝を飾った。

団体戦演技優勝は、息の合った演技を2本揃えた同志社大学。2本目ゴール後は各校笑いとセクシーさでジャッジアピール。冷静なジャッジの点数を若干狂わせたようだ。

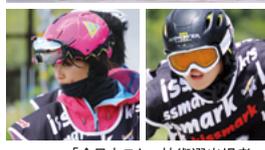
ピスラボSKI競技は幅約30m、長さ約1kmあるウイングヒルズ白鳥リゾートで行われ、総合的に優れた新潟大学の丸山遼大選手が、エリート男子クラスで2連覇。小回り整地では、今大会最高得点となる286点を叩き出し、会場を大いに盛り上げた。京都産業大学の奥村麻里子選手、新潟大学の高橋宗一郎選手、同志社大学の岸田瑠璃選手はインライ



今井優子、石水克友、養島浩明、沖山正裕、石黒孝幸、米丘友明がジャッジ。得点は全日本スキー技術選同様、電光掲示板に表示された



協賛/芸文社 月刊スキーグラフィック、ミズノ、フェニックス、デサント、オガサカスキー製作所、アメアスポーツジャパン アトムック事業部、ローラーブレード、アルペン、トップトラベル、ウイングヒルズ白鳥リゾート、高鷲スノーパーク



「全日本スキー技術選出場者、岩岳大会優勝者、上位入賞者が出場するなど、名実ともに夏の全国学生サマーSKI大会になり、学生達に多くの悔しさと、嬉しさと、感動を与えてくれました。すでに目標は冬に向かっていきます。来年も多くの学生スキーヤーの夏を応援します」(学生サマーSKI大会実行委員長 米丘友明)

ンからの2連覇。圧巻は、エリート女子、奥村選手の小回り整地284点と新人戦男子、高橋選手の小回り整地283点!

インラインSKI競技、ピスラボSKI競技の合計ポイントによる総合チャンピオンに輝いたのは、男子は同志社大学の高塚悠選手、女子は京都産業大学の奥村麻里子選手。総合優勝校は富山県立大学となった。

景品総額は100万円以上! 参加者には高鷲スノーパークリフト券、入賞景品、優勝の

副賞としてピスラボ用小質坂スキー、Hartバルシップ、ミズノウェアなどが贈られた他、走行距離約471kmの日本大学、443kmの日本女子大学、436kmの早稲田大学が「はるばる賞」として表彰され、ウイングヒルズ白鳥リゾートリフト券が贈られた。また、ケガをしても元気良く滑り切った田淵選手に、温泉ペア宿泊券と大きな拍手が贈られた。

大会のリザルトなどは、INSA北陸、学生支部 (URL insahlb.web.fc2.com/)にて掲載。

02
event